

令和2年度 大宮学園

# 保幼小中一貫教育だより



ねぎとうふ肉に白菜ワンチーム

令和2年12月21日 大宮学園事務局

## 「音楽発表会」～歌と楽器に思いを込めて（第一小）

大宮第一小学校では11月7日（土）、音楽発表会を開催しました。今年は感染予防対策をしながらの実施となり、例年とは違う鑑賞の仕方になりましたが、子どもたちは保護者の皆様の前で練習の成果をしっかりと発揮することが出来ました。当日まで取組期間は約3週間でしたが、子どもたちは休み時間も自主的に練習に取り組んでおり、「みんなで成功させたい！」という一人一人の思いが繋がっていった結果だと思えます。

コロナ禍で行事や取組が制限される中、子どもたちは音楽発表会に向け「歌」と「合奏」に取り組むことで音楽の楽しさを味わい、個人や学級・学年としても力を付けることができました。

### 【音楽発表会の様子】



## 「小中接続交流①～大中部活動体験」（第一小・南小6年生児童）

令和3年度に向けた「小・中学校間の接続を意識した交流事業」の第1弾として、11月11日（水）、第一小と南小の6年生児童、95名が、大宮中の部活動を体験しました。

6年生児童は、大宮中の全部活動を順番に見学した後、希望の部活に体験入部。最初は緊張した面持ちでしたが、各部活の先輩から優しく声を掛けてもらい、体験が終わるころにはそれぞれの部活の良さを感じ取ることができたようです。このような体験の積み重ねが、中学校進学に向けた心構えの形成につながってくるものと思われます。

交流事業第2弾は、令和3年1月15日（金）。大宮中の授業を体験します。5教科のうちの3講座を設定し、6年生児童は希望講座を体験します。



## 【体験の感想】

### ○さすが中学生！小学生とは違う。

最初みんなでいろいろな部活を見て回ったのもとても参考になりました。他の部活のことも知れて興味を持ちました。特にブラスバンド部ははく力があって印象に残っています。その後の体験では、実際にやることで自分の入りたいと思っている部活はどんなのか知ることができました。いっしょにやった中学生の先輩たちが優しく、分かりやすく教えてくれたのでできました。同じ小学校の女子がいなかったから少しきんちょうしてはいたけど楽しくできました。また、中学生を見ていて、やっぱり小学生とは違うなと感じました。すごく速いし、先生に言われたことをすぐ理解していてすごいなと思いました。私もこんなふうになれたらなと思いました。部活動体験を通していろいろなことを学ぶことができました。

### ○自分も来年からこの中に入るんだ。

中学生の人たちが部活動をしている姿を見て、「自分も来年からこの中に入るんだ。」そう思いながら楽しく部活動体験ができました。教え方もていねいでやりやすかったし、ほめてくれることもあったからさらにやりやすかったです。自分たちに教えてくれているのを見て、自分も見習おうと思えました。最初はとても緊張してはいたけど、体験していくうちに時間を忘れるくらい楽しめました。来るときはドキドキしてはいたけど、あまりできない体験を楽しく終われたからよかったです。

### ○ちゃんとできるんだなと安心した。

わたしはソフトボールをした経験があまりなく、最初できるかどうかとても不安でした。でも先輩たちが、グローブの持ち方やボールの投げ方などいちからていねいに教えてくれたり、私が投げたボールに対して「ナイスボール」と言ってくれたりして、ちゃんとできるんだなと安心しました。それにうれしかったです。部活動体験、本当に楽しかったです。

## 【部活動体験の様子】

ブラスバンド



卓球



ソフトテニス



## 「人権月間の取組」 (南小)

大宮南小は10月を「人権月間」に設定し、発達段階に応じて、生命や人間の尊厳、人権の意義や自尊感情などの学習から様々な人権問題について学びました。学習内容は学級毎にまとめ、教室等に掲示しています。

また、学校の人権学習を進めると同時に児童会では、友達の高さやがんばりに目を向け、その気づきを「笑顔」のカードに書く、「笑顔の輪」の取組を行いました。この取組には、「一人一人を大切にする気持ちがさらに育ってほしい。」という願いがこもっています。

南小児童会「笑顔の輪」

